



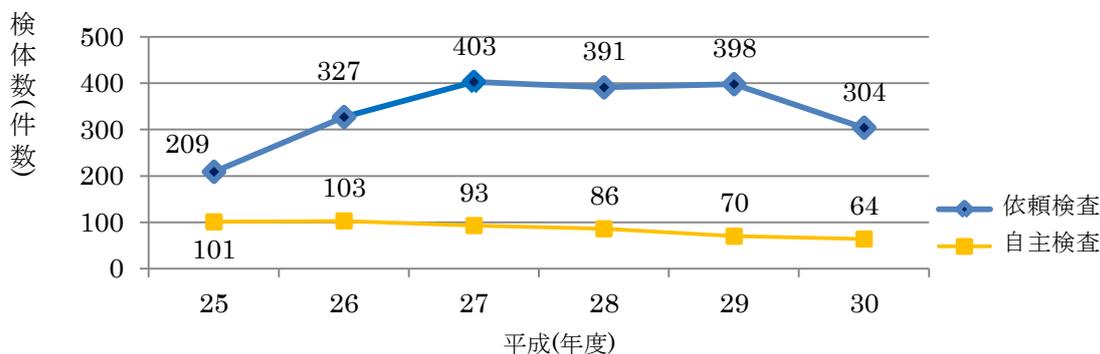
平成30年度(H30.4~H31.3) 異物検査結果について

兵庫県学校給食・食育支援センターでは、調理中、配膳中、喫食中等に発見された異物について、市町教育委員会、学校、共同調理場等からの依頼を受けて異物検査を実施しています(依頼検査)。また、製パン・米飯委託工場のクレーム等に関する異物検査も実施しています(自主検査)。

下記に平成25~30年度における年度別異物検査数の推移を表しました。

平成25年度から急激に増加した依頼検査数は、平成30年度によりやく少し減少しました。

年度別異物検査数の推移(H25~30年度)



【市・町等から依頼を受けた異物検査(依頼検査)の検査結果】

平成30年度4月1日から平成31年3月末において、市・町等の依頼により304件の異物検査を実施しました。①動物性異物が151件、②植物性異物が78件、③鉱物性異物が74件、④その他1件を確認し報告しました。

このうち、原材料からの由来であると推測される異物(肉の筋や米ぬかなどの原材料だけではなく、野菜につく幼虫や肉の骨片などを含む)は113件になり、全体の約37%を占めていました。どのような異物が混入していたのか、その結果をグラフにまとめました。

H30年度 異物検査結果

